



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月6日

上場会社名 ダイトウボウ株式会社

上場取引所 東名

コード番号 3202 URL <http://www.daitobo.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山内 一裕

問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員経営管理本部長 (氏名) 三枝 章吾

TEL 03-6262-6557

四半期報告書提出予定日 2020年2月6日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	3,592	9.1	339	38.9	189	41.7	183	13.0
2019年3月期第3四半期	3,293	2.3	244	29.9	133	52.5	162	26.9

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 226百万円 (%) 2019年3月期第3四半期 227百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	6.15	6.11
2019年3月期第3四半期	5.44	5.42

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	22,677	4,541	20.0
2019年3月期	20,853	4,308	20.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 4,524百万円 2019年3月期 4,297百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		0.00	0.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,400	20.1	460	40.5	240	1.4	230	22.0	7.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	30,000,000 株	2019年3月期	30,000,000 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	105,562 株	2019年3月期	105,562 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	29,894,438 株	2019年3月期3Q	29,894,538 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、国内では消費増税の影響、海外では米中貿易摩擦や英国のEU離脱問題等があり、製造業を中心に景況感が悪化傾向にあるものの、雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調が続きました。

こうした中で、当社グループは、経営理念である「進取の精神」と「自利利他の心」に基づき、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目指し、2018年度にスタートした「中期経営方針 Get Ahead of the Future ～新しい時代の先へ～」の諸施策に鋭意取り組みました。

商業施設事業におきましては、静岡県下有数の商業施設である「サントムーン柿田川」において、消費増税前の駆け込み需要の反動減がありましたものの、近隣に新規出店した大型ショッピングセンターの影響は想定範囲内に留まっており、商業施設事業はほぼ前年同期並みの水準を維持しました。併せて、「サントムーン柿田川」に本年3月開業予定の新棟「オアシス」の開業準備も計画に沿って進めました。ヘルスケア事業におきましては、一部で軟調な市況の影響を受けましたものの、前期末に譲り受けた和田哲カンパニーの業績が順調に推移する中、一段のシナジー効果の発揮に注力いたしました。繊維・アパレル事業におきましては、消費増税や暖冬の影響に加え、上海現地法人における海外事業が中国市況の影響を受けて販売が不振となりましたものの、国内において企画営業力の強化による採算改善に取り組んだ結果、損益面は改善しました。ただ、いずれの事業環境も第4四半期以降の見通しは厳しいものと想定しており、引き続き営業活動を強化していく考えであります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高はヘルスケア事業の譲受けによる増収効果もあり、35億92百万円(前年同期比9.1%増)と前年同期比増収となり、また、各事業セグメントにおいて粗利率が改善したことに加え、前年同期の商業施設事業投資に関連する一過性の費用計上の影響が剥落したこともあり、営業利益は3億39百万円(前年同期比38.9%増)と前年同期比増益となりました。さらに、支払利息などの営業外費用を加味した経常利益は1億89百万円(前年同期比41.7%増)と前年同期比増益となり、これに、前年同期の減資に伴う一過性の税金費用の改善効果がなくなったことによる法人税等の税金費用増加がありましたものの、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億83百万円(前年同期比13.0%増)となり、前年同期比増収増益の決算となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりです。

(商業施設事業)

商業施設事業につきましては、静岡県下有数の商業施設である「サントムーン柿田川」において、ハロウィンおよびクリスマスの季節関連イベントを強化したものの、消費増税後の反動減の影響や近隣に新規出店した大型ショッピングセンターの開業セールの影響もあり、売上高は前年同期を下回りました。損益面では、前年同期に計上した第4期開発に関連する一過性の費用計上がなくなったこともあり、前年同期比増益となりました。

この結果、商業施設事業の売上高は17億46百万円(前年同期比0.6%減)、営業利益は7億9百万円(前年同期比11.4%増)となりました。

(ヘルスケア事業)

健康ビジネス部門につきましては、前期末の事業譲受け効果により、売上高は前年同期を上回りました。一般寝装品部門につきましては、一部取引先での在庫調整の動きなどがありましたものの、前期末の事業譲受け効果による業務用寝具の受注増があったことから、売上高は前年同期を上回りました。損益面では、増収効果に加え、譲受け事業である和田哲カンパニー事業が順調に推移した結果、前年同期比で改善しました。

この結果、ヘルスケア事業の売上高は10億64百万円(前年同期比68.2%増)、営業利益は13百万円(前年同期は営業損失10百万円)と第3四半期連結累計期間では5期ぶりの黒字転換となりました。

(繊維・アパレル事業)

衣料部門につきましては、消費増税や暖冬による秋冬物衣料の不振による影響もあり、売上高は前年同期を下回りました。ユニフォーム部門につきましては、予定していた民需案件の受注が来年度以降にずれ込んだ影響から、売上高は前年同期を下回りました。損益面では、前年同期に計上した在庫評価減がなくなったこともあり、前年同期比で損失幅が改善しました。

この結果、繊維・アパレル事業の売上高は7億81百万円(前年同期比13.5%減)、営業損失8百万円(前年同期は営業損失29百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産の残高は226億77百万円(前期末は208億53百万円)となり、前期末に比べ18億24百万円増加(前期末比8.7%増)しました。主な要因は、現金預金の減少3億24百万円、たな卸資産の増加1億14百万円、有形固定資産の増加19億79百万円であります。

負債の残高は181億35百万円(前期末は165億44百万円)となり、前期末に比べ15億91百万円増加(前期末比9.6%増)しました。主な要因は、短期借入金の減少17億66百万円、長期借入金の増加33億33百万円であります。

純資産の残高は45億41百万円(前期末は43億8百万円)となり、前期末に比べ2億33百万円増加(前期末比5.4%増)しました。主な要因は、利益剰余金の増加1億83百万円、繰延ヘッジ損益の増加48百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2019年5月10日発表の予想数値に変更はありません。なお、業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,735,466	1,411,195
受取手形及び売掛金	652,248	697,398
たな卸資産	610,845	725,457
その他	56,460	58,678
貸倒引当金	△1,670	△2,060
流動資産合計	3,053,350	2,890,670
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,882,421	5,637,382
土地	9,268,089	9,268,089
建設仮勘定	1,762,651	3,972,194
その他(純額)	154,368	169,513
有形固定資産合計	17,067,530	19,047,179
無形固定資産		
のれん	200,114	189,393
その他	4,162	24,163
無形固定資産合計	204,276	213,557
投資その他の資産		
投資有価証券	330,635	327,611
破産更生債権等	87,808	83,256
繰延税金資産	126,768	123,548
その他	67,135	71,722
貸倒引当金	△84,442	△80,228
投資その他の資産合計	527,904	525,911
固定資産合計	17,799,711	19,786,648
資産合計	20,853,062	22,677,319

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	577,915	579,324
短期借入金	2,374,400	608,392
未払法人税等	2,716	493
賞与引当金	34,308	17,869
株主優待引当金	28,000	—
その他	733,610	816,597
流動負債合計	3,750,950	2,022,676
固定負債		
長期借入金	8,311,000	11,644,712
長期預り保証金	1,567,132	1,549,674
再評価に係る繰延税金負債	2,476,495	2,476,495
退職給付に係る負債	280,991	300,167
資産除去債務	53,712	54,027
その他	104,361	87,976
固定負債合計	12,793,693	16,113,054
負債合計	16,544,644	18,135,730
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
利益剰余金	△270,247	△86,510
自己株式	△9,781	△9,781
株主資本合計	△180,029	3,707
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△18,461	△20,318
繰延ヘッジ損益	△172,806	△124,717
土地再評価差額金	4,664,864	4,664,864
為替換算調整勘定	3,967	906
その他の包括利益累計額合計	4,477,563	4,520,735
新株予約権	10,884	17,145
純資産合計	4,308,418	4,541,588
負債純資産合計	20,853,062	22,677,319

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	3,293,866	3,592,737
売上原価	2,409,009	2,572,370
売上総利益	884,856	1,020,367
販売費及び一般管理費	640,676	681,301
営業利益	244,180	339,065
営業外収益		
受取利息	20	40
受取配当金	4,960	5,233
持分法による投資利益	2,302	945
その他	2,731	2,147
営業外収益合計	10,015	8,366
営業外費用		
支払利息	88,653	150,603
その他	31,596	7,010
営業外費用合計	120,250	157,613
経常利益	133,944	189,818
税金等調整前四半期純利益	133,944	189,818
法人税、住民税及び事業税	3,096	2,861
法人税等調整額	△31,773	3,220
法人税等合計	△28,677	6,081
四半期純利益	162,621	183,737
親会社株主に帰属する四半期純利益	162,621	183,737

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	162,621	183,737
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△21,068	△1,856
繰延ヘッジ損益	△80,569	48,088
土地再評価差額金	△286,747	—
為替換算調整勘定	△1,971	△3,060
その他の包括利益合計	△390,356	43,171
四半期包括利益	△227,734	226,908
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△227,734	226,908
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	商業施設 事業	ヘルスケア 事業	繊維・ アパレル事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,757,719	633,316	902,830	3,293,866	—	3,293,866
セグメント間の内部売上高 又は振替高	342	—	66	408	△408	—
計	1,758,061	633,316	902,896	3,294,275	△408	3,293,866
セグメント利益又は損失(△)	637,295	△10,862	△29,983	596,449	△352,269	244,180

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△352,269千円は各報告セグメントに配分していない全社費用である。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費である。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項なし。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	商業施設 事業	ヘルスケア 事業	繊維・ アパレル事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,746,503	1,064,967	781,266	3,592,737	—	3,592,737
セグメント間の内部売上高 又は振替高	342	—	512	854	△854	—
計	1,746,845	1,064,967	781,779	3,593,592	△854	3,592,737
セグメント利益又は損失(△)	709,687	13,286	△8,570	714,403	△375,337	339,065

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△375,337千円は各報告セグメントに配分していない全社費用である。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費である。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項なし。